

Leciono A19

定冠詞 la 1

冠詞：定冠詞 la

- ★ エスペラントで用いる冠詞は定冠詞のみです。定冠詞 **la** は特定のものを指すときにつけます。日本語では「その、かの、所定の、ご存知の、前に申し上げた」などで表されるものです。机や椅子は幾種類もありますが、対話者同士が確認しあっている「特定の」ものには、

la tablo, la seĝo
などと定冠詞をつけます。

- ★ 逆に、無冠詞は、「どれでもいい」一般的な「～なるもの」、話者だけが知り相手が知らないものです。また、固有名詞はふつう無冠詞です。

La domo brulas! (あなたもご存知の) その家が燃えている。
Domo brulas! 家が燃えている。

(話者は聞き手がその家を知っているかどうか知らない)

Kato estas besto. 猫は動物である。(一般的に猫というもの)
Tokio estas granda urbo. 東京は大都市です。(固有名詞)

練習問題 1

次の文章の括弧の中に必要があれば定冠詞を挿入し、不要であれば空欄のままにしてください。

- ① **Jen estas libro.** 本があります。
() **libro estas interesa.** その本は興味深いです。
② **Jen estas vortaro.** 辞書があります。
() **vortaro estas dika.** その辞書は厚いです。
③ () **hundo estas besto.** 犬は動物です。
④ () **pomo estas frukto.** りんごは果物です。
⑤ () **Nara estas malnova urbo.** 奈良は古い都市です。

練習問題 2

次の語をそれぞれ次の意味で用いるときに、必要があれば定冠詞を挿入し、不要であれば空欄のままにしてください。

- ① 一冊の本 () **libro**
② 何冊かの本 () **libroj**
③ 前に言及した(特定の)本 () **libro**

.....
tablo 机 seĝo 椅子 domo 家 kato ねこ
besto 動物 urbo 都市 libro 本 vortaro 辞書
hundo 犬 pomo りんご frukto 果物 amiko 友人
bruli 燃えている granda 大きい interesa 興味深い
dika 厚い malnova 古い



日中韓やロシア語には冠詞がありません。
上に述べた基本の考え方をまず理解しましょう。